

▶▶ 徳島県

命を守る「災害救助犬」
「セラピー犬」を育てる

徳島県では、動物愛護管理センターに收容される犬の中から大規模災害発生時に人命救助等を行う「災害救助犬」や、避難所や病院などを訪問し心のケアを行う「セラピー犬」、動物とのふれあい方や命の大切さを学ぶ「ふれあい活動犬」の育成を県内の訓練所と協力して行っております。犬の育成に必要なトレーニング等の費用についてふるさと納税で募りました。

事業の意義として、「災害時への備え」と「動物愛護の推進」の両面を積極的に発信し、支援が広がっていきました。

認定された災害救助犬等の活動状況については、ウェブサイト等での事業報告により、積極的に発信していきます。また、飼い主をはじめ、各関係機関との連携を推進することにより、活動の場を広げていきます。



訓練風景



倒壊家屋からの被災者の探索訓練の様子

注力した点や工夫した点

動物愛護管理センター收容犬を育成し、譲渡が進むことにより、犬の殺処分削減にも繋がることをアピールしたことで、多くの寄附者の共感を集めることができました。

Check

取組の効果

これまでに、2頭の災害救助犬が育成・認定されており、飼い主とともに防災イベントや災害訓練に参加し有事に備えての経験を積んでいます。また、新たな災害救助犬の候補犬が認定審査に向けて訓練中です。

セラピー犬・ふれあい活動犬についても、県内の老人保健施設や幼稚園、小学校などを訪問し、ふれあい活動を通じて、心の安らぎと命の大切さを学ぶ機会を

提供しています。

本事業については、多くの報道で取り上げられ、事業に対する周知や理解が進み、新たな飼い主の募集の増加にも繋がっています。



老健施設への訪問（ふれあい活動）



小学校への訪問（命の授業）

寄附者の声



・セラピー犬などを育てることは、とても地道で大変なお仕事だと思います。この取組が長く続くように応援しています。頑張ってください。

住民の声



・県内にセラピードッグ・災害救助犬がいてくれることは心強く、ふるさと納税により事業が実施できたことは大変ありがたいと感じています。